

指名強化講習会を終えて

先月号で紹介した指名強化講習会を終えて静岡県の審判員ストロングポイントをご紹介します。強化の皆さんが日々審判活動のために研鑽を積んでいる姿がとても誇らしいです！

①ゲームに向かう姿勢・準備

割り当て発表はゲームの1週間前となります。その1週間で、対戦チームの映像データ入手しスカウティング。
キープレイヤーやチームの特徴などを映像で確認できるように準備しプレゲームカンファレンスで共有しています。
担当ゲームをクリーンに創り上げていきたい姿勢がとても素晴らしいです！



②パフォーマンスアップのための体づくり

プレイヤーに負けない体づくりを皆さんしていると感じました。
筋力アップをして立ち姿に貫禄ができた方もいました。体が大きくなるだけで見た印象がぐっと良くなりますね！
走力もかなり鍛えられていました！スプリントがとても良く走り方・スピード共に素晴らしいものでした！



↑【フィットネス】みんな頑張りました！

③プレゼンテーションの意識が高い

堂々とプレゼンテーションを行うことで、コート上での存在感がグッと増します。
素早くディレクションを行うポイントや、ゆっくりと慌てずに進めなければいけないポイントを把握し時と場に応じたプレゼンテーションを使い分けることができています。
どしっと構えた姿が存在感アップにつながってきますね！



静岡県の強化審判員のレベルが少しずつ上がってきております！！

審判表彰者のご紹介

6月29日に行われた定時総会にて3名の審判員が審判活動を一生懸命行ってきた功績が称えられて優秀審判として表彰されました。優秀審判員賞に美澤将史さん、新人優秀審判員賞に中山貴博さん、佐野力斗さんが表彰されております。3名のコメントをいただいておりますのでご紹介いたします。



中山貴博さん 美澤将史さん

令和6年度優秀審判員賞をいただいた美澤将史です。日々の成果がこうした形となって評価されることは本当に嬉しいことですし、ありがたいことだと感じています。井出審判長をはじめとする県内の審判員の方々にも感謝申し上げます。最近読んだ記事の中に、「良い審判員は、周りを生かすことができる人だ」というものがありました。周りに良い影響を与えられる審判員になれるよう、今後も日々研鑽を積んでいきたいと思っています。



佐野力斗さん

令和6年度優秀新人審判員賞をいただいた47歳新人の中山貴博です。
このような素晴らしい賞をいただけたのも、井出審判委員長をはじめ、上級の方々からいただいたアドバイスや指名強化として同じ目標に向かっていらっしゃる方々及びU12部会の方々と切磋琢磨してこれた結果だと思っています。
初心を忘れる事なく、己のため、地区のために審判活動を続けていきたいと思っています。

令和6年度優秀新人審判員賞をいただいた佐野力斗です。
この度は名誉ある賞をいただき、心より感謝申し上げます。
今後もオフザコートでの誠実な姿勢と謙虚な心を忘れず、審判としての在り方を常に問い続けながら、自分が理想とする「審判道」を真摯に歩み続けてまいります。
今後とも何卒よろしくお願いいたします。

土屋会長お疲れ様でした。



審判活動とは少し離れますが…6月29日（日）に開催された静岡県バスケットボール協会 令和7年度定時総会にて、土屋哲平会長が4年の任期を満了し、ご退任されました。

実はこの土屋会長、私が高校生だった頃のバスケット部の顧問でもありまして…。多くの叱咤激励を受けながら、まさに汗と涙の青春を過ごさせていただき、深い愛情を注いでくださったことは、一生の宝物です。あの情熱的な指導がなければ、今の私は存在しないと感じております。

そして、審判を続けていたおかげで、高校卒業後も大会の会場などで先生と再会できることがあり、そのたびに「あの頃」を思い出して懐かしい気持ちになっておりました。退任後のご予定をお聞きしたところ、「これからは孫をしっかり育てる仕事が残ってるから！」と、目を輝かせながらおっしゃっていました。さすが、引退しても“熱血”は健在。とはいえ、たまには会場にも顔を出していただけたら、みんなきっと嬉しいと思います！

土屋会長が築いてこられたバスケットボール協会の良き文化を受け継ぎ、私たち次世代が、時代の変化に対応しながら新たな価値を加えていけるよう、これからも頑張っていきたいと思っております。

レフリーQ&A 「B級からA級になるってどんなことができれば良いの？」

先日の講習会で、ある役員の方からこんな質問を受けました。

「上級ってB級とどう違うんですか？ どうやったら上級になれるんですか？」

この質問、実はとても奥が深いんです。強化メンバーの方たちは判定できることは当たり前を前提としています。あえて上級とは一言で表すなら…「どれだけゲームをスムーズに進行できるか」だと思います。

レフリーをしていてしっかりと判定をしていたけど、「うわ、やっちゃったな…」という瞬間、ありますよね。

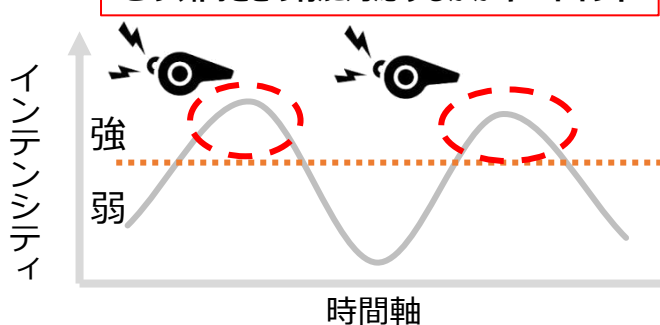
例えば…選手やコーチに怒られた！あわや乱闘寸前！ゲームが変な方向に！何を吹けばいいのかわからない…これらはすべて、「ゲームの中のインテンシティ（＝試合中の熱量・緊張感）」をうまくコントロールできなかったことが原因のひとつと考えられます。

ゲームは生き物。常に一定なんてことはまずありえません。人の感情がぶつかり合う場ですから、「ヤバい空気」をどれだけ早く察知して、どれだけ早く摘み取れるかがポイントなんです。

上級レフリーの方々は、その「インテンシティの芽」を感じ取るセンサーがものすごく高性能なんです。だから、対応が早く、問題が大きくなる前に解決できる。その結果、ゲームがスムーズに進行する。ゲームがスムーズになると、レフリー自身も落ち着いてジャッジできる。落ち着いてるから、堂々とプレゼンもできる。……と、こうやって「良い循環」を自分たちで作り出せるのが、上級なんだと思います。

審判上手になりたいと思っていらっしゃる方は「ゲーム中のインテンシティが上がる瞬間を見つけるトレーニング」から始めてみましょう。その小さな積み重ねが、気づけばあなたを“上級”へと導いてくれるはずですよ。カテゴリに関係なく、どんなゲームでも本質は同じ。ぜひ、みなさんもチャレンジしてみてください！

この瞬間をどの様に対応するかがキーポイント



抑えられないとどんどんゲームが大変な方向に！

